

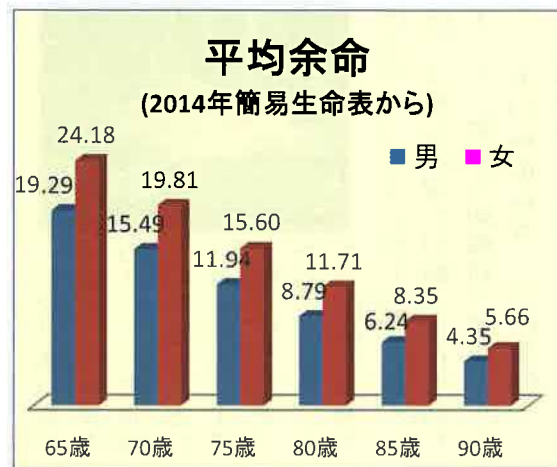
笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第127号



発行日 平成27年9月30日
発行 笠間市社協北川根支部
編集 北川根支部広報委員会
印刷 (有)クリエイティブサンエイ



高齢化社会と 自助、互助

副支部長 鶴田 浩一

日本人の平均寿命は年々伸び、2014年には男性では80・50歳、女性では86・63歳になっています。

■70歳の平均余命 男15年、女20年

あと何年生きられるかという平均余命は左図の通りで、例えば現在70歳の男性であれば余命は約15年、女性では約20年となります。

一方、85歳以上の人口は、現在510万人であるのに対し、20年後には1015万人に倍増すると聞くと、さすがに大変な時代になるだろうと

思わずにはいられません。若い人が減少する中で、誰が高齢者を支えてくれるのでしょうか。高齢者だけの家族、独居の高齢者はごく普通になり、老々介護も「当たり前」になると言われています。

このような急速な社会変化に私たちはどのように対処すべきでしょうか。地域社会の福祉を支える構成要素を自助、互助、共助、公助、に分ける考え方があるようです。行政が支えてくれる共助、公助には大いに期待したいところですが、人材確保と財政的な制約から、今後大幅に拡充するのは難しいと思われます。

■まずは自助を意識し、次は地域での互助が必要

そこです。自分自身でわが身を治めるといふ自助をこれまで以上に意識しなければならぬと思います。このことは既に広く認識されており、平均寿命の伸びも、医療技術の進歩とともに各個人の健康意識の高まりのたまものと言われています。

次は地域社会の中で互いに助け合う互助です。個人の生活と信条を尊重しつつ助け合うという事はやさしいことではありませんが、これらの高齡化社会では最も期待される福祉の要素であると思います。まずは日頃から、地域とつながっていることが肝要ではないでしょうか。

北川根支部研修(バス)

※後日、参加者を募集します。

日時：平成28年1月26日(火)

場所：埼玉古墳群と忍城跡

を歩く(埼玉県行田市)

【北川根支部研修(概要)】

【行先】埼玉古墳群と忍城跡
(埼玉県行田市)を歩く
【期日】平成28年1月26日(火)
【行程】笠間市友部社会福祉会館(8時30分出発)→佐野SA→埼玉古墳群・史跡博物館→渡ら瀬(昼食)→行田市郷土博物館(忍城跡)→壬生PA→笠間市友部社会福祉会館(17時到着)予定
【定員】先着40名(バス1台)
※後日、各区長等を通じて参加者を募ります。
(注)社協北川根支部の会員に限る。



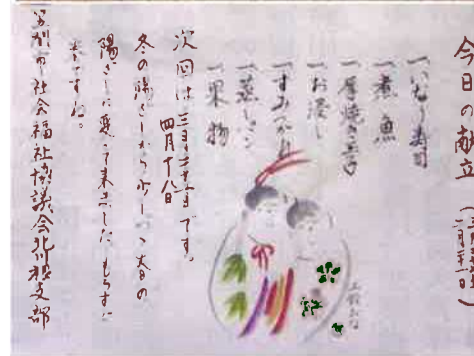
編集後記

東日本大震災から4年半が過ぎた9月中旬、鬼怒川の堤防が壊れ、床上・床下浸水など多くの被害がありました。お見舞い申し上げます。(藤森)

配食弁当へのお手紙

「ごちそうさまでした！」

女性部が中心になって行っている月1回の配食弁当について、お礼のお手紙を頂きました。

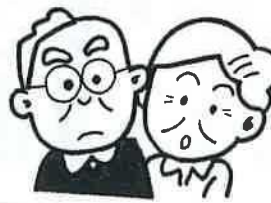


いつも美味しいお弁当ありがとうございます。思いがけず、いなり寿司を頂きうれしかったです。煮魚、うで卵、お浸し、蒸しパン、りんご、しみつかれ……。どれも美味しかったです。蒸しパンの中の南瓜の味としみつかれには、栃木生まれの妻は大変喜んでいました。御馳走様でした！



《合同茶話会のお知らせ》

行先 予科練平和記念館(阿見町)



皆様お元気でお過ごしのことと思います。今年には戦後七十年という事で、あの大战の体験談があらにこちらで語られ、日本国が平和の大切さへの思いを新たにしているところです。そこで私達も、阿見町の「予科練平和記念館」に下記の日程で行きたいと思ひます。多くの皆様に参加して頂き、お話を伺いたしたいと思ひますので、どうぞよろしくお願い致します。(上野)

- | Aグループ | Bグループ | Cグループ |
|--|---|--|
| 平成27年10月1日(木)
随分附本郷・新田
柏井・旭丘・柏井団地
旭ヶ丘団地 | 平成27年10月29日(木)
住吉新宿・住吉本宿
旭団地・西脇・長野
グリーンウッド
睦団地・西原・西原住宅
住吉団地・みどりの団地 | 平成27年11月5日(木)
仁古田東部・西部
石沢・湯崎・田向
岱長兎路・下長兎路
長兎路三区・東原 |



北子連球技大会 ソフトボール

七月十三日に北子連ソフトボール球技大会がありました。一回戦目は、住吉子ども会と対戦しました。みんな初めての試合で

もボールを良く見ていて、練習以上に打つことができ、たくさん点を取れました。守備でもプレーがたくさん出て、勝つことができました。二回戦目は、湯崎・長兎路子ども会と対戦しました。さっきの試合の疲れもあったけど、ピッチャーとしてストライクを入れることだけを考えました。集中して投げたので、たくさんストライクが入り絶好調でした。優勝できて本当にうれしかったです。

本大会も七月十二日に保護者の皆様、指導者の皆様、各協会の皆様のご協力により無事終えることが出来ました。子ども達も日頃の練習の成果を十分に発揮し、ソフトボール、ドッジボール共に、白熱した試合が繰り広げられました。最近では、笠間市内の小学校の統合、各地域子ども会の退会件数増加

北子連支部長 櫻井 英一

球技大会を終えて

北川根支部

や子ども的人数減少等により、支部大会を開催出来ない支部もあるなか、当大会を出来る限り存続し、子ども会同士の交流を大切にしていきたいと思っています。また、社協・小学校等と連携を今まで以上に密にし、地域の活性化に貢献していけるよう努力して参ります。最後に、社協北川根支部水田様、市議会議員大貫様、増田校長先生をはじめ小学校の諸先生方には、お忙しい中ご出席を頂き本大会を盛り上げていただきましたこと、誠に感謝申し上げます。

北子連 ドッジボール・ソフトボール大会



大空子ども会(ソフトボール優勝)



旭子ども会(ドッジボール優勝)



うれしかった球技大会 ドッジボール

旭子ども会 佐々木 駿

七月十四日に球技大会がありました。僕は、旭子ども会のドッジボールのキャプテンになりました。僕は、去年旭

のアタッカーとカットマンを活躍出来ました。今年の地区大会では、去年の大会と同じでアタッカーとカットマンが出来ました。最初の練習試合では、みんな背中をむけて逃げていたのに、本番の大会では、みんな背中を向けて逃げずにちゃんとボールに向かってとりにつけてました。勇気を出して取りにいったのは監督のおかげです。3年ぶりに優勝できてとてもうれしかったです。

女性部研修

歴史と文学を訪ねて

栃木県大田原市(旧黒羽町)へ

みどりの風が吹く六月十一日、総勢二十六名で、黒羽城址公園、芭蕉の館、大雄寺へと行って来ました。六千本と言われる紫陽花が咲く城址公園は那珂川をはるかに見下ろす高台にあり、物見櫓に登ると広がる田園風景の向こうに那須、日光の山々が一望出来ました。現在も土塁、空堀、水堀等がよく保存され、往時の様子を伺い知ることが出来ました。



芭蕉の館にて(平成27年6月11日)



松尾芭蕉は奥の細道紀行の中で四日もこの黒羽地方に滞在したといいますが、よほど魅力のある地だったのでしょうか。あ

門人であつたせいかも知れません。館には多くの資料が展示されており「奥の細道画巻」は印象的で、「月日は百代の過客にして、行き交う年もまた旅人なり・・・」とあの有名な文章が始まり、国語の時間を思い出してしまいました。句も多く紹介されており、旅に生きた芭蕉もよく知ることが出来ました。隣接する大雄寺は黒羽藩主大関氏の菩提寺であり、現在の建物は江戸中期のもので、本堂も鐘楼も廻廊も全て茅葺き、簡素で堂々とした室町時代の禅寺の風格をかもして居りました。鬱蒼とした木立に囲まれた大関氏累代の墓は非常に静寂な雰囲気でした。車中で鶴田副支部長の、これらに関する説明を聞きながら、学生時代に戻ったような気分勉強をして来た研修会でした。(上野)

チャリティーサマーフェスタ 2015 INともべ

友部社会福祉会館
2015年8月23日



売上げ金の一部を、善意銀行に寄付しました

北川根支部社協は、例年通りお赤飯を販売致しました。その他、女性部会員の協力により、手作りの手拭い、手作りの帽子、手作りバック、会員の親戚から、そ



お赤飯や、手作りの帽子、バック、布コースター等を販売

れぞれ特技を生かしたコースター、布草履、ティッシュカバー等を寄付して頂き販売致しました。昨年より今年は暑さが厳しかったせいか、お客様の出足が少なかつた様な気が致しました。そのせいか、お赤飯の売れ行きが今ひとつでしたが、支部の役員さんが協力して下さい、何とか完売し終了する事ができました。売上げ金の一部を、社会福祉協議会の善意銀行に寄付し、チャリティーに協力することができました。(塩崎)

24時間テレビ 「愛は地球を救う」

女性部を中心に、赤飯、バック、布草履等を販売。8月23日、恒例の「チャリティーサマーフェスタインともべ」に今年も参加致しました。